



発行人 公益財団法人 愛媛県消防協会 松山市築山町1番35号 電話(921)8517番 会長 土居 敏夫 一部52円

年頭の辞



公益財団法人 愛媛県消防協会 会長 土居 敏夫

平成三十年の輝かしい新春を迎えるにあたり、平素から地域防災にご尽力いただき、ありがとうございます。皆様には、常日頃から防災の最前線において、昼夜を問わず地域住民の安心・安全な暮らしを守るため、献身的に職務精励いただいております。誠に、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、消防団員数の減少は全国的にも大きな問題となっております。愛媛県消防協会は、「えびめ愛媛」で消防団員応援プロジェクトをはじめ、愛媛県からの新規委託事業となり、「未来の消防団員加入促進事業」を実施し、県内の高等学校を訪問しそれぞれ特色のある消防団活動を紹介するなど、若い世代の入団促進に向けた事業の推進と併せて、活動内容を限定した機能別消防団の結成に向けて県内各団において取り組み、消防団員確保や充実強化に向けたあらゆる活動が展開されております。この活動が契機となり一人でも多くの団員が増えることを願っております。

を確保するため、「命を守る」地域防災力の充実強化に、消防関係者のご理解とご協力を得ながら、更なる精進をして参る所存でありますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

年頭の御挨拶



愛媛県知事 中村 時広

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素、消防関係者の方々は、火災や風水害等のさまざまな災害から住民の尊い生命と貴重な財産を守るため、昼夜を問わず献身的に御活動いただいております。心から感謝を申し上げます。

御案内のとおり、今年度は自治体消防制度の発足から七十周年の節目に当たります。この間、同制度は皆様方の長年にわたる御努力の積み重ねにより、着実に発展をとげ、県民の安全・安心の確保に大きく寄与して参りましたが、社会情勢の変化や自然災害の激甚化にともない、消防に対するニーズは、年々、多様化・高度化しております。こうした中、昨年、県内においては、二月に西予市野村町で十一棟が全焼し、多くの

平成29年度全国統一防火標語 火の用心 ことばを形に 習慣に

を対象に、消防団の魅力や役割について理解を深める事業を推進するなど、担い手の確保に力を注いでおります。更に、活動に制約が多いサラリーマンや大学生等が消防団員として活躍できるように、機能別消防団員の普及・拡大にも努めており、市町に対し、制度の導入や拡充を強く働きかけているところであります。

また、近い将来、南海トラフ地震等の発生が見込まれる本県では、大規模災害に備えるため、防災・減災対策を最重要課題に位置付け、地震・津波・土砂災害対策等を推進するとともに、防災訓練の実施を通じた県民の意識醸成、防災士の養成に取り組みむなど、ハード・ソフト両面から災害対応力の向上を図っているところであります。

加えて、発災時において、消火・救命・救助等に迅速な対応が求められる地域防災の要となる消防団活動の充実を図るべく、貴協会と連携の下、キャリアバン隊による啓発活動や女性消防団員の加入促進に向けたイベントを展開するほか、今年度から新たに高校生

消防制度七十年代の スタートに当たって



公益財団法人 日本消防協会 会長 秋本 敏文

愛媛県消防協会のますますの御発展と、皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。

発生が危惧されるなど、消防関係者は「いつでも、どこでも、何でもある」位の覚悟をせざるを得ないように思われます。そのなかで、東日本大震災の経験から成立した「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨に沿った地域の消防防災体制の強化が益々重要となっております。

これは、常備消防との緊密な連携のもと、地域にあっては消防団が中心となりながら、地域の皆さんの総力を結集して、どんな災害があっても生命を守り抜くことができ体制づくりを進めようとするものであり、法律成立後、各地で地域防災力強化への動きが見られ、また、関係者の方々のご協力を頂いて発行している総合情報誌「地域防災」による情報提供もすつかり定着してきたように思います。まだまだ多くの課題がありますが、今年も皆さんと一緒に力を合わせて前進してまいります。

域コミュニティの変容など変化が見られます。消防に求められる活動も拡大してきました。簡単にはいい尽くせない大きな変化がいろいろな面でも進んでおり、消防は、将来に向かって、これらの変化を真正面から受け止めながら、国民の皆さんの安全確保に貢献することができると新たな時代の消防体制づくりを進めなければなりません。消防の使命は益々重大になり、皆さんのご苦心も多いと思っておりますが、関係者が力を合わせて前進したいと思っております。

Advertisement for SN-IT (新日本ライツ) featuring fire safety equipment and services. Includes contact information for branches in Matsuyama and Ehime Prefecture.

年頭の辞



消防庁長官

稲山 博司

平成三十年の新春を迎えるに当たり、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

平素から消防防災活動や消防関係団体業務などに従事され、地域の安心・安全の確保に御尽力いただいた全国の消防関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、七月の九州北部豪雨をはじめ、台風や集中豪雨による自然災害が多発した他、平成二十八年末の糸魚川市での火災に続き、二月の埼玉県内の大型倉庫火災等の大規模な火災も発生しました。それぞれの現場において、献身的な活動に携わっていただいた消防職員、消防団員の皆様には、心から敬意を表します。

また、三月に長野県内で発生した消防防災ヘリコプター墜落事故により、前途有為な多くの隊員を失ったことは我が国の消防にとって大きな損失であり、ヘリコプター運行の安全性向上等、消防職員の活動時の安全確保は益々重要であると認識しています。

八月から九月にかけては、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが二度にわたり我が国の上空を通過する事態が発生した際に、Jアラートによる情報伝達が行われました。

このように、国民の安心・安全を脅かす災害は従前にも増して複雑多様化しており、消防庁では、今後の大規模災害に備えるとともに、様々な災害に対応できるよう、緊急消防援助隊及び常備消防力の充実強化はもとより、地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充

実強化、火災予防対策の推進、消防防災分野における女性の活躍推進、Jアラートも含めた防災情報の伝達体制の整備等に取り組んでまいります。

本年は、昭和二十三年三月七日に消防組織法が施行され、市町村消防の原則に基づく今日の自治体消防制度が確立して以来、七十周年を迎える記念すべき年です。全国の消防関係者の方々と力を合わせ、国民の安心・安全な生活を確保するという消防に課せられた使命の重要性を再認識し、更なる消防防災・危機管理体制の充実強化を図ってまいります。

の安心・安全対策につきまして、引き続き計画的に推進してまいります。また、東日本大震災等の被災地では、依然として厳しい状況の中で消防防災活動を強いられ、被災地における消防防災体制の充実強化につきましても引き続き推進してまいります。

皆様方におかれましては、我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展と、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりのために、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

年頭の辞



愛媛県消防長

会長 鵜久森 政則

平成三十年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から地域の安全・安心を確保するため、昼夜を分かたず消防・防災活動に御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、アスクール倉庫火災、長野県消防防災ヘリコプター墜落事故、栃木県的那須温泉ファミリースキー場の雪崩事故、九州北部豪雨災害など、災害名を聞いただけでも状況が思い出せるような、住民の安全・安心を脅かす社会的にも影響の大きい災害が全国各地で相次ぎ、多くの尊い命と貴重な財産が失われました。また、

これらの災害では、被災地の消防だけでは対応が困難で、県内の消防本部や消防団、さらには緊急消防援助隊や自衛隊などが出動したケースもありました。複雑多様化、大規模化する災害や、発生が危惧されています南海トラフ巨大地震に的確に対応するには各消防本部、消防団、自主防災組織、女性防火クラブなどの消防関係機関や団体が連携強化を図ることが重要となっています。

このような中、愛媛県消防長会では、これまで実施していた緊急消防援助隊の後方支援活動訓練に加え、参集、受援、部隊運用の訓練を愛媛県総合防災訓練に併せて実施することとし、県内各消防本部の連携強化を図るとともに、県内消防職員の消

防救助技術の向上を目的とした愛媛県消防救助技術大会を開催するなど県内消防の更なるレベルアップを図る取組を行っているところであります。

今年、自治体消防制度七十周年を迎える年となり、秋には、宇和島市をメイン会場とする中国・四国ブロック緊急消防援助

隊合同訓練の開催が予定されています。この節目の年の一大イベントを県内消防が一致団結して成功させ、愛媛消防を充実強化していきたいと考えていますので、消防関係者の皆様には一層の御協力と御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今後の公益財団法人愛媛県消防協会の益々のご発展と、消防関係者の皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。年頭の御挨拶とさせていただきます。

順次ホームページに出初式の様子をアップします。ぜひご覧ください!!

平成30年出初式日程表

上段：晴天 下段：雨天

日付	曜日	市・町	時間	場所
1月13日	土	砥部町	10:00	砥部町陶街道ゆとり公園 多目的広場
			10:00	砥部町中央公民館講堂
1月14日	日	松前町	10:00	松前公園多目的広場
			10:00	松前公園体育館
1月21日	日	四国中央市	9:00	伊予三島運動公園多目的グラウンド
			10:00	伊予三島運動公園体育館メインアリーナ
1月21日	日	松山市	9:45	松山市堀之内 城山公園
			10:30	松山市役所 本館11階大会議室
1月21日	日	伊予市	9:30	伊予市立伊予小学校グラウンド
			10:00	伊予市立伊予小学校屋内運動場
1月28日	日	愛南町	10:00	南レク城辺公園多目的広場
			10:30	愛南町御荘文化センター
1月28日	日	上島町	10:00	弓削小学校グラウンド
			10:00	弓削町民体育館
2月4日	日	鬼北町	9:00	鬼北総合公園グラウンド
			9:00	鬼北総合公園体育館
2月4日	日	西予市	9:00	西予市宇和運動公園多目的広場
			9:00	西予市宇和体育館
2月11日	日	松野町	9:00	松野中学校グラウンド
			9:30	森の国ドーム
2月18日	日	久万高原町	9:30	久万公園グラウンド
			9:30	久万B&G海洋センター
2月18日	日	内子町	9:30	内子町運動公園グラウンド
			10:30	内子町五十崎自治センター共生館ホール
2月25日	日	宇和島市	9:00	市総合体育館駐車場
			10:00	市総合体育館
3月4日	日	新居浜市	9:00	山根市民グラウンド
			10:30	新居浜市民文化センター 大ホール
3月4日	日	東温市	9:30	東温市総合公園グラウンド
			9:30	ツインドーム重信東温市民体育館
3月4日	日	大洲市	9:30	大洲市若宮 五郎大橋上流河川敷グラウンド
			10:30	大洲市民会館
3月11日	日	今治市	9:00	今治市営補助グラウンド
			10:00	今治市公会堂
3月11日	日	八幡浜市	9:30	八幡浜市立保内中学校グラウンド
			10:00	八幡浜市立保内中学校体育館
3月18日	日	西条市	9:00	西条市加茂川河川敷多目的広場
			10:00	西条市総合文化会館大ホール
3月18日	日	伊方町	10:00	伊方町民グラウンド
			10:00	伊方スポーツセンター

最強コンビ



トーハツ VCPROIII



キンバイスーパーランナーホース

ポンプ操作法



愛媛県イメージアップキャラクター 許番号 2805024 みきゃん



株式会社 ヤマダ

1910年創業

TOHATSU

株式会社 吉谷機械製作所

テイセン

YAMATO ROTEL

小型消防ポンプ VF シリーズ 電子制御 燃料噴射装置

消防ポンプ自動車 化学消防自動車

テイセン救助工作車 キンバイ消防ホース

ヤマトプロテック 粉末(ABC) 消火器

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号

TEL: (089) 947-2295 | FAX: (089) 945-3976 | www.yamada-pump.co.jp

扱いやすさと
タフな空冷エンジンを採用

空冷式消防ポンプ
FT500 B-2級
FT450 B-3級



Fi(電子制御燃料噴射)に間接水冷ラジエータを搭載

水冷Fi式消防ポンプ
FF500ZXi B-2級
FF450ZXi B-3級



操作で活躍!

信頼と実績のキャブレタシリーズ
水冷式消防ポンプ
FK500 B-2級
FK450 B-3級
FK400 B-3級



シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店
(有)愛媛芝浦ポンプ商会
TEL.089-933-6355 FAX.089-933-9550
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

平成二十九年度 愛媛県消防団員意見発表会 正副団長消防長等研修会

平成二十九年十月二十八日(土)午後二時から新居浜市にて、愛媛県消防団員意見発表会並びに正副団長消防長等研修会を開催し、県内の各消防団長・消防長ほか一三五名が参加した。



開会式

第一部の消防団員意見発表会では、各支部から選出された発表者が消防団活動に対する提言や課題等について発表を行い、審査員に、株式会社ハートネットワーク業務局長・井上和志様、愛媛県消防長会会長・鶴久森政則様をお迎えし、土居協会長、萬條業務執行理事、井戸業務執行理事、中川業務執行理事の六名が審査を行った。

里山でもっとも熱くやりがいを分かち合える仲間であることを雄弁に語った。



新居浜市消防団の西原佑弥氏は「消防団への思い」について、消防団員の父や祖父への憧れや葛藤、消防団の魅力

を誠実な姿勢で語った。



東温市消防団の野中真由氏は全国女性消防操法大会に出場するまでの二年間について、「挑戦からの絆」と題し、訓練を通して様々な学びや発見があったことを女性の視点から力強く語った。

「挑戦からの絆」と題し、訓練を通して様々な学びや発見があったことを女性の視点から力強く語った。



野中 真由氏

続いて、第二部の正副団長消防長等研修会では、本年度からの新規事業となる「未来の消防団加入促進事業」にて

作成したDVDの視聴及び事業説明を行った。

その後、公益財団法人日本消防協会会長・秋本敏文様を講師に迎え「明日の日本消防」と題して、近年の災害状況・社会環境・消防活動の変化に伴う課題や、その課題に対応するための日本消防協会の活動、今後の団員確保対策などは盛会裏に終了した。

研修会後の情報交流会では、引き続き日本消防協会秋

全国女性消防団員 活性化広島大会

平成二十九年十一月十六日(十七日)、広島県広島市の広島グリーンアリーナにて「ようこそ 平和を未来につなぐ広島へーみんなで減災！輝け消防女子ー」を大会テーマに第二十三回全国女性消防団員活性化広島大会が開催された。



開会式

本大会は、全国から女性消防団員や消防団幹部、消防関係者等約三千人が参加し、本県からは松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、



日本消防協会会長 秋本敏文氏 講演

本会長も出席され、参加者らと懇親を深めた。

伊予市、東温市、西予市、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、鬼北町、松野町の女性消防団員等一四〇名が参加した。

大会では、広島市消防音楽隊によるウェルカムコンサート、広島県立広島高等学校書道部による書道パフォーマンスに始まり、式典の後防火防災啓発劇、活動事例発表、広島東洋カープの新井貴浩選手による記念講演、「女性パワーと地域防災力強化」と題し日本消防協会秋本会長がコ

ディネーターを務めるパネルディスカッションが行われた。閉会式では大会宣言の後、来年度開催の滋賀県消防協会会長へ大会旗の引き継ぎが行われた。

その他にも会場内では全国各市町村女性消防団の活動紹介コーナーが設けられ、本県からは松山市、今治市、西条市が展示を行い全国に向けて情報発信を行った。



PR展示 松山市



PR展示 今治市



PR展示 西条市

来年は、十一月九日から十日にかけて滋賀県立体育館(ウカルちゃんアリーナ)にて「母なる湖、琵琶湖へようこそ 近江の国から発信！今こそ一致団結女性消防団」を大会テーマに第二十四回全国女性消防団員活性化滋賀大会が開催されます。多くの女性消防団員の参加をお願いします。

災害に強いまちづくりをお手伝いします

家庭用からプロ仕様まで
消防・防災の専門商社

- ◎消防ポンプ自動車
- ◎消防ホース
- ◎防災・救助機器
- ◎避難用品
- ◎小型動力ポンプ
- ◎消防被服
- ◎消火器・消火装置
- ◎自主防災・企業防災用品



MORITA
消防ポンプ自動車No.1メーカー



新基準による
消防団員活動服



SHIBaura
消防ポンプ・防災機器
シバウラ可搬消防ポンプ



ジェットホース
操法大会最適ホース
コンペVシリーズ

(株)岩本商会 〒790-0067 松山市大手町1丁目10番地1

Tel.089(947)2111 Fax.089(947)2116

高松支店/宇和島営業所/姫原倉庫 http://www.iwamotosyukai.co.jp

文化祭で 「消防隊員ファッション ショー」を開催

八幡浜地区消防署では、火災予防を訴えるとともに消防署・消防団の業務内容を広くPRし、併せて女性消防団員・女性消防団員を募集するため、十一月三日、地元のアマテラス高等学校の協力を得て、文化祭「川高祭」の会場で消防隊員ファッションショーを開催しました。

第二分署 寄稿

八幡浜地区消防署では、火災予防を訴えるとともに消防署・消防団の業務内容を広くPRし、併せて女性消防団員・女性消防団員を募集するため、十一月三日、地元のアマテラス高等学校の協力を得て、文化祭「川高祭」の会場で消防隊員ファッションショーを開催しました。イベント会場に生徒や来場者が大勢集まる中、高校生男女十名が消防隊員や消防団員の制服や活動服、防火衣等を着こなし、同級生や先生、来場者の前でヒーローヒロインとなり十分にPRしていたいただきました。見学していた生徒の中には「次は私が出場する。」という生徒もいて、大盛況のうちに終了しました。短い時間でのイベントでしたが、音楽やナレーションに合わせて生徒一人ずつが舞台上に登場、女性消防団員のメイクパフォーマンスもあり、ファッションショー会場は熱く盛り上がり、見学していた小さな子どもが舞台まで上ろうとするハプニングも起こりました。



最後に行った記念撮影では、女子生徒たちが消防の服を着た生徒たちと一緒に記念撮影する場面も見られ、女性消防職員や消防団員募集のPRに十分な成果が挙げられたものと確信しました。



